

神戸昇天教会月報

〒652-0015 神戸市兵庫区下祇園町39番7号 神戸昇天教会

牧師 小南 晃 電話 (078) 361-4490

FAX (078) 361-4539

http://nssk-kobeshoten.org/ 振替口座 01110-2-10517

2016年4月 復活節

大いなる主日

～感謝と喜びの内に信仰を深める～

イエスは苦難を受けた後、御自分が生きていることを、数多くの証拠をもって使徒たちに示し、四十日にわたって彼らに現れ、神の国について話された。(使徒言行録1:3)

司祭 ミカエル 小南 晃

復活日から聖霊降臨日までの50日間は復活節と呼ばれます。今年3月27日(日)に復活日を迎え、5月5日(木)に昇天日、そして5月15日(日)に聖霊降臨日を迎えます。今月、4月はすべて復活節の内に含まれることとなります。

この復活節50日間については、カトリックの典礼解説には、この期間すべてを一つの祝日として、またより適切には「大いなる主日」として歓喜に満ちて祝うものと記されており、それは4世紀の、三位一体を唱えた聖アタナシウスの書簡にもそうした理解が書かれているとのこと。

冒頭の聖句に主イエスは復活後40日間にわたって使徒たちに現れ、彼らに復活の数々の証拠を示し、また神の国について話されたとありました。即ち、イエスはこの間、使徒たちに信仰について教育されたということでしょう。

信仰とは霊的な事柄です。しかし霊的だからといって奇跡的な仕方で一瞬の内にすべてを理解するというわけにはいかないのです。使徒たちですら40日にわたってイエスご自身から教えら

れたのでした。ですから私たちも当然、信仰については、充分時間をかけて学んで行く必要があるということでしょう。



大齋節と復活節

大齋節40日間は洗礼志願者が復活日の受洗に備えて罪を悔い改め、信仰について学ぶ期間に起源を持つとされています。

そして復活後の40日間もまたやはり信仰を深めて行くための学びの時なのです。

もし敢えてその学びの差を言うとするならば、大齋節に悔い改めと罪の赦しについて学ぶなら、復活日以後は教会の交わりの中で福音を黙想し、感謝の礼拝に参加し、喜びの内に愛の実践を学んで行くということになるかも知れません。

そしてこのことは大齋節が初めは洗礼志願者のためのものであったのが、やがて信徒すべてが信仰の原点に立ち返ることを目指して守るようになったように、復活節における学びも信徒すべてにとって感謝と喜びの内に信仰を深めて行くべき時といえるでしょう。

受洗者を与えられて

今年の復活日は、一人の兄弟が受洗されて当教会の交わりに加えられたことにより、さらに喜び多いものになりました。

同兄弟とは洗礼に備えて大齋節の間に教会問答をともに学んで参りましたが、これからも堅信式に向けて続けて参ります。しかし勿論、堅信式を受ければそれで終了と言うことでは決してありません。信仰の学びは私たちすべてにとって生涯続けていくべきものです。

復活節という期間は、新たに入信した人が教会という共同体に喜んで溶け込むことが出来るように教会全体として気配りをすべき時であり、そしてそれは既に洗礼を受けた信徒にも、新しい視野と新しい刺激を与えられる機会として、教会全体にとっても大事な時だと言われています。

この復活節、新たな入信者を与えられた喜びと共に、復活の主イエス・キリストが共におられることを覚えながら、私たちすべてが感謝と喜びの内に信仰を深めて参りたいと思います。

定例集会

日 午前7時 早朝聖餐式
" 9時15分 教会学校
" 10時30分 聖餐式・説教
午後6時 夕の礼拝

火 午前10時30分 聖書研究会
土 午前10時30分 教会掃除
(ご奉仕をお願いします)